

頁数	項目	正	誤								
1	図1 (左上) (10万人) → (人口10万人対)	<p>図1 主要死因別死亡年次推移 (1947年～2011年)</p>	<p>図1 主要死因別死亡年次推移 (1947年～2011年)</p>								
2	図2中の説明	<p>図2 男女別のがん罹患率とがん死亡率</p>	<p>図2 男女別のがん罹患率とがん死亡率</p>								
4	8～9行目	現在、我が国における肺がんCT 検診の受診者数は12 万人以上（2009 年日本CT 検診学会全国集計より）であり、その数は2002年の2 倍に達している（図4）。	現在、我が国における肺がんCT 検診の受診者数は12 万人以上（2007 年日本CT 検診学会全国集計より）であり、その数は4年前の2 倍に達している（図4）。								
17	3行目	CT 値は単色X 線（単一スペクトル）の線減弱係数を基準に計算されるが、～	CT 値は単色X 線（単一スペクトル）の線吸収係数を基準に計算されるが、～								
17	1.1.3項（ウィンドウ機能） 9～10行目	～ウィンドウレベルのCT 値 100 は白黒の中間色となる。	～ウィンドウレベルのCT 値 θ は白黒の中間色となる。								
28	図1.11 3行目の式	$I(r; \theta) = I_0 \cdot e^{-\int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds}$ <p>↓ 変形</p> $\frac{I(r; \theta)}{I_0} = e^{-\int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds}$ <p>↓ 対数</p> $\log \frac{I(r; \theta)}{I_0} = -\int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds$ <p>   P (r, θ) : θにおける投影データ</p>	$I(r; \theta) = I_0 \cdot e^{-\int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds}$ <p>↓ 変形</p> $\frac{I(r; \theta)}{I_0} = e^{-\int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds}$ <p>↓ 対数</p> $\log \frac{I(r; \theta)}{I_0} = \int_{-\infty}^{+\infty} f(x, y) ds$ <p>   P (r, θ) : θにおける投影データ</p>								
67	1～3行目	CNR は図2.12 に示すようにスライス厚の増加（画像ノイズの低下）とほぼ比例して向上する。しかし、視覚評価による最小認識径はスライス厚が2.5mmと薄層になり、画像ノイズが増加した場合、CNRの変化と相関しない現象が生じることがある。	しかし、図2.12 に示すようにCNR は画像ノイズとほぼ比例して増減するのに対して、視覚評価では画像ノイズが一定レベルを超えると評価値が極端に低下することがあり、視覚評価とCNR が一致しない現象が生じることがある。								
102	図3.7										
116	表4.5 「画質」（3列目）の3行目	画像ノイズの低減：スライス厚の平方根	画像ノイズの低減：mAsの平方根								
118	18～21行目	4列マルチスライスCTのスキャン条件（施設A）は120kV, 30mA, 0.5秒/回転（15mAs）, 2mm×4列, ピッチファクタ1.375, スライス厚10mmである。16列マルチスライスCTのスキャン条件（施設B）は120kV, 30mA, 0.5秒/回転（15mAs）, 1mm×16列, ピッチファクタ0.7, スライス厚10mmである。また、図4.8(a)は～	16列マルチスライスCTのスキャン条件（施設A）は120kV, 30mA, 0.5秒/回転（15mAs）, 1mm×16列, ピッチファクタ0.7, スライス厚10mmである。また、4列マルチスライスCTのスキャン条件（施設B）は120kV, 30mA, 0.5秒/回転（15mAs）, 2mm×4列, ピッチファクタ1.375, スライス厚10mmである。図4.8(a)は～								
156	表6.2	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul> </td> <td>                     JIS Z 4752-3-5: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験方法—第3-5部: 受入試験—医用X線CT装置 (表6.1参照)                       受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。                 </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul>	JIS Z 4752-3-5: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験方法—第3-5部: 受入試験—医用X線CT装置 (表6.1参照)  受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul>		<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul> </td> <td>                     JIS Z 4752-2-6: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験法 第2-6部: 不変性試験                      医用X線CT装置で規定 (表6.5参照)                 </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul> </td> <td>                     受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。                 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul>	JIS Z 4752-2-6: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験法 第2-6部: 不変性試験 医用X線CT装置で規定 (表6.5参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul>	受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul>	JIS Z 4752-3-5: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験方法—第3-5部: 受入試験—医用X線CT装置 (表6.1参照)  受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。										
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>① ノイズ、平均 CT 値、均一性</li> <li>② 空間分解能</li> <li>③ スライス厚</li> <li>④ 線量</li> <li>⑤ 患者指示器の位置決め</li> <li>⑥ 患者位置決め精度</li> </ul>	JIS Z 4752-2-6: 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験法 第2-6部: 不変性試験 医用X線CT装置で規定 (表6.5参照)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ ヘリカルスキャンのスライス厚</li> <li>⑧ 低コントラスト分解能</li> <li>⑨ 線量プロファイル</li> <li>⑩ 架台のチルト正確性</li> </ul>	受入試験の必要項目ではないが、実施してもかまわない。										
191	図7.19のキャプション	図7.19 ブロンコ体操とCT画像 (左肺; B <sup>3</sup> , 右肺; B <sup>4</sup> )	図7.19 ブロンコ体操とCT画像 (右肺; B <sup>3</sup> , B <sup>4</sup> )								